



2012年6月1日

## 富士重工業「自動車リサイクル法」による2011年度再資源化率等の実績を公表

富士重工業は、自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)に基づく2011年度(2011年4月～2012年3月)における再資源化等の実績を公表します。

2011年度の実績は、シュレッダーダスト\*<sup>1</sup>(以下ASR)では164,618台(25,774.5トン)を回収、24,156.5トンを再資源化しました。よってASR再資源化率は93.7%となり、2015年度法定基準である70%を達成しました。

またエアバッグ類は87,037台、200,635個を引き取り、16,063.5kgをリサイクル施設に投入し、15,033.6kgを再資源化しました。再資源化率は93.6%になり、法定基準の85%を達成しています。

フロン類は132,636台(37,071.7kg)を引き取り、適正に処理を行いました。

再資源化に要した費用は1,258,263,378円、資金管理法人から払渡しを受けた預託金は総額1,471,424,658円であり、全体収支は213,161,280円の黒字となりました。

富士重工業では自動車メーカーが主体で結成するART(自動車破碎残さリサイクル促進チーム)の一員としてシュレッダーダストの再資源化に取り組み、2011年5月にシュレッダーダストの埋立て処理ゼロ化を達成、現在も継続しています。

今後も富士重工業では使用済自動車から発生するASR、エアバッグ類、フロン類の3品目の引取・再資源化が確実に円滑に行われるよう取り組み、高い水準のリサイクル率を安定的に維持することを目指します。

\*1 使用済自動車から有用資源を回収した後に残る破碎残さ